

越中守大伴宿禰家持の報ふる歌 并せて所

心三首

四〇八二番

天離る 鄙の奴に 天人し かく恋すれば 生ける
あまざか ひな やつこ あめひと こひ い
しるし

四〇八三番

常の恋 いまだ止まぬに 都より 馬に恋来ば
つね こひ いまだや みやこ うま こひこ
に あ

荷なひ堪へむかも

別なる所心一首

四〇八四番

暁に 名告り鳴くなる ほととぎす いやめづ
あかとき な の な ほととぎす いやめづ
らしく 思ほゆるかも
おも